

小学生が伝統職人のお仕事を体験！

本県の伝統的工芸品の製造体験や職人との交流を通じて、理解と認識を深めてもらうため、小学生とその保護者を対象に「かごしまの手仕事学校」(7月28日～30日)をマルヤガーデンズにて開催しました。今回は、コロナ禍も落ち着いたことで最低限の感染対策を講じながら実施し、3日間で県内外から延べ127名が体験しました。

中には1日に複数の体験や毎年異なった製造体験をする子や兄弟・友達と複数人での参加など、毎年恒例の夏休みイベントとして楽しみにしている参加者が多いことを実感でき、「来年から中学生だが、まだ体験したい」という嬉しい声もありました。

夏休みの自由研究の一環で織体験をし、職人に歴史や製造方法、織機の仕組み等を細かく質問したり、大島紬の本も購入するなど、親子ともに県内の工芸品を知っていただく良い機会となりました。

また、職人同士の交流が深まる機会にもなりました。

今回は、大島紬の着付やミニオカリナの製作、帖佐人形の絵付を初企画し、高い関心を示す小学生も多かったことから、今後もこのような工芸品に接する機会を増やし、製造体験を通して若い世代に本県工芸品に興味を抱いてもらえるような取組みを進めて参ります。



【体験した小学生の声】

- 一つ一つ丁寧な職人の作業に驚いた。
- 伝統産業に興味があったので良い経験になった。他の工芸品も体験したい。
- これまでも色々な体験をしたが、今回も夏休みの楽しい思い出の一つになった。

【保護者の声】

- 子供が集中して取組んでおり、好きなことを仕事にする楽しさに繋がったと思う。
- 着付体験がよい記念になり、色々な柄の大島紬があることも勉強になった。
- せっかく鹿児島に生まれて、地元の工芸品を見るだけでなく、実際に触れてほしい。



【出展者の声】

- 小学生は独特の感性を持っている為、指導する職人としても貴重な体験ができた。
- もっと県内外の小学生、保護者に知ってもらうため、このような機会を設けてほしい。

南九州市ふるさと納税返礼品事業者の会の講習会にて講義を行いました

南九州市のふるさと納税返礼品事業者の会では、事業者目線で返礼品を充実していくこと目的に、それぞれが課題を抱える返礼品のレベルアップを図るため、今回初めて返礼品の外装に関する研修会を開催し、当協会の海老原支援員(特産品振興支援員食品担当)が講演を行いました。(参加者25名)

講義では、「あなたの思いを消費者に届けるメッセージ」と題して、食品の一括表示や栄養成分表示の事例を紹介しながら記載方法や留意点、注意喚起等を促し、消費者は「商品を購入するうえで食品を選択するもの」、事業者は「食品の情報を正確に伝えるもの」といった、確実な法令等順守の重要性について講義しました。

受講者からは、個人向け商品と業務用商品の表示方法の違いや自社商品の一括表示についての質問(再確認)があり、表示の改善へ向け、真剣に取り組んでおられました。

当協会では、地域特産品協会等の活動を支援しておりますので随時、ご相談ください。



食品の一括表示等についての講習会

東武宇都宮百貨店「長崎・鹿児島展」初開催 東武百貨店池袋店「九州うまいものと奄美の物産めぐり」初開催

本県の魅力的な食品や歴史ある伝統的工芸品等をPR・発信する「長崎・鹿児島展」(7月19日～25日)を栃木県宇都宮市の東武宇都宮百貨店において長崎県と共同で初開催しました。

イトインでは、長崎県とコラボした「黒豚飛魚ラーメン」やさつまいもを使用した「完熟蜜芋ソフトクリーム」などを紹介し、本県の食の魅力を発信しました。

また、工芸品は、栃木県で紹介する機会が少なかったこともあり、本場大島紬や薩摩切子などに興味を持つ方が多く、新たな市場としての魅力を感じました。今後、両県の魅力をさらに伝えられるよう継続開催していきたいと思えます。

また、東武百貨店池袋店では、残暑厳しいこの時期に「暑さ(残暑)を乗りきる」をテーマに、世界自然遺産に登録された奄美群島と、九州各県の食と工芸品など数々の特産品魅力発信を行い、独特な文化等をPRする「九州うまいものと奄美の物産めぐり」(8月17日～22日)を初開催しました。今回、イベントとして奄美群島各島の唄者による島唄ライブを行い、休日は、ライブ目的で約300名程度来場され、毎回立ち見が出るほどの人気ぶりでした。

百貨店担当者からは「鹿児島県始め、九州には魅力ある食品が多く、お客様の動向から人気が高いことがわかる」、来場者からも「以前から奄美には興味があった。次はこの雰囲気現地を味わいたい」等の声があるなど、魅力を大々的に宣伝・PRすることができました。

今後も会員の皆様と一緒に物産観光展等において、本県特産品を盛り上げていきたいと思えますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。



山形屋「第14回 南の宝箱 鹿児島 ふるさと物産展」開催

山形屋にて「第14回 南の宝箱 鹿児島 ふるさと物産展」(8月17日～22日)を開催し、27市町村から合計71社(工芸品16社、食品55社(初出展20社))が出展しました。

今回は、鹿児島県の新PRキャッチコピーである「南の宝箱 鹿児島」をテーマに県内43市町村の掘りおこしを始め、日本復帰70周年を迎える奄美群島からは「大島紬」「黒糖」「きび酢」「マベパール」、世界自然遺産登録30周年を迎える屋久島からは「屋久杉製品(家具・インテリア・小物)」を展示・販売し、多彩で特色ある特産品と県内各地の観光情報などを幅広く宣伝・紹介しました。

コロナ禍も落ち着き屋内外での飲食等に制限がないことから、今回、屋外のベルグ広場において、金土日の週末3日間限定で「サマーパーティー in 天文館ベルグ広場」を開催し、来場者は久々の屋外イベントを楽しんでいました。

ふるさと物産展では、県内でも普段なかなか行けないお店・商品等が一堂に揃っているため、来場者も「見る」「触れる」「味わう」ことで鹿児島再発見や新発見の機会に繋げることができました。

【消費者の声】

- ・奄美大島の「鶏飯」「黒糖」「大島紬」「マベパール」等、奄美の素材を活かした商品やこれまで知らなかった奄美の商品が購入できた。
- ・鹿児島県産黒毛和牛弁当やスイーツなど、鹿児島の美味しいものが一堂に会しており楽しかった。

【山形屋担当者の声】

- ・全体的にカテゴリーのバランス良い出展・出品があり、初出展企業も多く「南の宝箱 鹿児島」を再現できた。
- ・奄美群島特集は、県民もなかなか奄美大島や離島に行けないので、今後も継続してスポットを当てたい。

【出展者の声】

- ・新商品や新デザインなどを展示・販売でき、お客様からも喜んでもらえた。
- ・お客様からの反応や評価(声)を直接聞くことができ、今後の商品開発に役立てたい。
- ・試飲・試食が解禁され、販売しやすい環境となったが、さらに売上を伸ばすためには、売り方・見せ方、商品パッケージやラインナップ、内容量など工夫と改良が必要と感じた。



海外への本県産品の販路開拓と更なる認知度向上を図るため、国内外21社のバイヤーと県内企業35社が商談する「うんまか鹿児島輸出商談会2023」（9月8日(金)、主催：鹿児島県、鹿児島県特産品協会、鹿児島県貿易協会等）を開催しました。

今回は4年ぶりに対面形式で商談を行い、バイヤーと県内企業が直接商談できたことで商品提案や説明、会話等もスムーズで充実した商談となりました。

出展企業は、初めて参加する企業から長年海外と取引している企業まで様々でしたが、海外に目を向けて取り組む意欲が以前にも増して感じられ、バイヤーから直接アドバイスを受けたことで課題や改善点を再認識できました。全体的に輸出への可能性を大いに感じた企業も多く、バイヤーにとっても本県の新たな特産品・新商品を発掘できました。

また、台湾における本県農林水産物等のイメージアップ及び輸出拡大を促進するため、台湾小売店並びに輸入卸会社からバイヤー3名を招聘し、産地視察や生産者、産地関係者等と商談を行いました。

今回、10月にCarrefour／家樂福において「日本フェア」を開催することから、本県の重点品目の「さつまいも」の輸出にむけた産地視察並びに商談を行うとともに、台湾で需要の高い「金柑」「みかん」、新たな農林水産物や加工品等を掘り起こすことで本県農産物の更なる販路拡大が期待できる有意義な機会となり、実際に見て・食べて・生産者等と交流することにより産地や商品の情報をより深く知っていただくことができました。



【バイヤーの声・意見】

- ・鹿児島県は、温暖な気候で風土や環境がすばらしく、日本でも有数の産地で一次産品（農畜水産物）から加工品等が数多くあるため、自信を持って海外でPRすれば輸出拡大が図れるのではないかと。
- ・日本国内の中でも、鹿児島県の生産者や産地関係者は海外輸出に積極的で熱心である。
- ・日本の商品が多く販売されている国・エリアなどでは、鹿児島らしく、特徴のある商品の方がバイヤーの目を引き、商談成約にも繋がり易い。また健康意識が以前よりも高くなっているため、その点もPRできる商品があればより良い。

特産振興支援員奮闘記

トラブルを未然に防ぐために

特産振興支援員 工芸品担当 村瀬 辰範



先日、繊維の表示について生産者の方にお問い合わせを頂きました。薄い繊維に表示物を縫い付けると繊維を損傷する可能性があるため表示をどうすればよいかとのご相談でした。

食品表示と同じく日常的に使用する商品は、「家庭用品品質表示法」が定められています。対象となる家庭用品は、「繊維製品」「合成樹脂加工品」「電気機械器具」「雑貨工業品」の4部門で規定があり消費者の保護を図る必要性の強い商品がそれぞれ指定され表示方法が定められています。

衣類等の繊維製品の洗濯表示についても、判りやすくなじみのある洗濯記号は41種類で取扱い方法を表示しています。また、洗濯表示の記号だけでなく“裏返して洗濯”等の付記表示も認められています。

ご相談のあった繊維製品は、規定では箱や包装内に判別しやすいよう表示することで縫い付けの必要はありませんでした。このように製品の品質を損なうことが無いよう繊維種別や形状等によって表示の運用が規定されています。

表示に関する法律の他、消費者庁のHPでは消費者安全法の重大事故、インターネット通販でトラブルになった際の消費者心理特性の調査報告、消費者リコールや10月1日から規制されるステルスマーケティング等を公表しています。経済産業省には「消費生活製品安全法」等の法律もあり、これらは、全て消費者の生活、利益を保護するために開示されていますので各省庁のHPをご覧頂き未然にトラブルを防止する参考にして頂ければと思います。

1. 「輸出向け加工食品の栄養成分分析のご案内」について

JA鹿児島県経済連 食品総合研究所では、輸出向け加工食品の栄養成分分析を令和5年4月から開始しております。これまで国内の食品表示に対応した分析は行っておりましたが、新たに糖類、飽和脂肪酸、トランス脂肪酸等を追加し、輸出向けに対応いたしました。

輸出に取り組まれる企業様のお役に立てれば幸いです。
ぜひ、お問い合わせください。

【JA鹿児島県経済連 食品総合研究所HP】 <https://www.karen-ja.or.jp/agri/shokuhin/>

【お問い合わせ先】 〒890-0062 鹿児島市与次郎2丁目2295-236
JA鹿児島県経済連 食品総合研究所
TEL:099-256-7151

2. 制度開始直前 インボイス制度への対応について

いよいよ10月よりインボイス制度がスタートし、12月には電子帳簿保存法の猶予期間が終了します。こうした中、制度への理解や制度開始直前の最終確認をすることに対して、面倒や不安を感じている経営者・経理担当者も多くおられるかと思えます。

かごしまインボイス制度普及協議会では、「今知っておくべき、確認しておくべきインボイス制度・電調法の重要ポイント」をまとめて学ぶことができる講座を開講しておりますので、是非、ご活用ください。

【公式インボイス制度・電帳法 実務対応講座WEBページ】

https://go.freee.co.jp/invoice_course_2023_kagoshima.html?utm_source=email

3. 第28回かごしま原木しいたけフェア開催告知

当協会では、本県特産品である原木しいたけの消費者への普及や啓発、消費向上を促すため、「第28回かごしま原木しいたけフェア」を開催いたします。

当日は、乾・生しいたけや椎茸加工品、特売用乾燥しいたけの販売のほか、2,000円以上の購入者対象にしたお楽しみ抽選会を実施いたします。

毎年、非常に良質な椎茸をお買い求めの消費者で賑わうフェアですので、当協会としても、更なるPR、魅力発信を続けて参ります。

【会期】10月11日(水)～10月13日(金)3日間

※11日、12日は、詰め放題実施予定(限定80名)

(両日ともに10:30～12:00まで)

【会場】鹿児島県産業会館 1階ロビー



4. 「かごしまの暮らしを彩る器展」を開催します！

今年で3回目となる「かごしまの暮らしを彩る器展」をマルヤガーデンズにて開催いたします。
今回は、マルヤガーデンズ主催「お茶とおやつ」との連動企画としてコラボセットを限定販売します。
また、32のテーブルコーディネート展示や作品の展示販売も行っておりますので、皆様是非お越しください。

【会期】10月20日(金)～10月22日(日)3日間 10:00～20:00(最終日は18:00)

【会場】マルヤガーデンズ 4階 ユナイトメントガーデン

詳細は下記HPよりご覧ください。

<https://www.maruya-gardens.com/event/kagoshima-utsuwaten2023/>

5. 「鹿児島県産品×沖縄国際物流ハブ」海外輸出商談会開催告知

沖縄国際物流ハブを活用した特産品の販路拡大を目的に、商談会を通じて輸出について具体的に検討する機会を創出する「鹿児島県産品×沖縄国際物流ハブ」海外輸出商談会(11月7日)を開催いたします。

当協会では、これからも県や民間企業と連携を図りながら、海外への本県特産品の販路拡大及びPRを支援して参りますので、輸出等興味のある方は、是非ご相談ください。

6. 東武百貨店船橋店「第23回鹿児島物産展」開催告知

鹿児島の優れた特産品や観光地等を総合的に紹介し、県産品の販路拡大、及び観光客の誘致促進を図るため、千葉県船橋市において標記物産観光展を開催いたします。

今回は、「鹿児島の黒」をテーマに鹿児島が誇る「黒」の文化を特集し紹介いたします。

首都圏で本県特産品をPRできる貴重な機会ですので、千葉県の消費者に鹿児島の魅力やこだわりを発信して参ります！

【会期】11月22日(水)～11月28日(火)7日間

【会場】(株)東武百貨店船橋店 6階イベントプラザ

7. 水戸京成百貨店「鹿児島フェア」開催告知

本県独自の文化や伝統の中で育まれた数々の特産品を宣伝・販売し、水戸市を始めとする茨城県の皆様に幅広く紹介し、県産品振興ならびに本県への観光客誘致を図るため、標記フェアを開催いたします。

歳暮シーズンであることから多くの来場者へ本県の魅力をPRする機会になりますので、本県産品の更なる販路拡大を図って参ります。

【会期】11月30日(木)～12月6日(火)7日間

【会場】7階催事場東側フロア